

## いざ、大いなることを歌おう —《メサイア》全曲演奏への賛歌—

瀬戸メサイア合唱団が創立10周年を迎えました。大変な快挙であり、私たち音楽ファンにとって、とても嬉しいことです。心からお喜び申し上げます。それを記念して《メサイア》の全曲演奏というさらなる快挙に挑戦するというのですから、喜びは二重になりました。その喜びを表わすのに、お仲間のみなさまとの《メサイア問答》でお応えすることにしました。

## メサイアは救世主

「メサイアってなんですか？」

「それはとてもいい質問です。(笑) 『メサイア』とはヘブライ語で「油をそそがれた者」のことで、ギリシャ語では「キリスト」といいます。元々は、王さまや司祭が、聖職者として特別な人であることを讃えるために、頭から香油をそそがれて身を浄めたことによります。旧約聖書では、特に神の子としてこの世にやってきて、ユダヤの民を救う人、すなわち「救世主」を指すようになりました。日本の聖書では、「メシア」と訳されています。」

「ヘンデルの《メサイア》も、イエス・キリストのことを歌ったのだと思っていいのですか？」

「ところがそう簡単ではないのです。『イエス=キリスト』とは、イエスという実在の人物が聖なる神の子のキリストであることをいっているのです。ここでの《メサイア》は、すべての人類を苦しみや悩みから救う「救い主」という意味が強く感じられる言葉です。」

## 《メサイア》全曲演奏の意義

「メサイア的全曲演奏って、珍しいですね？」

「団長の石原昭二さんをはじめ、団員のみなさまが、「どうしても大好きな《メサイア》を全曲演奏したい」というので、今日の試みになったのです。」

「全曲演奏すると、なにか良いことがありますか？」(笑)

「ええ、たくさんあります。まず、古今東西ベストテンに入る大変な名曲ですから、いつまで聴いてもあきません。ここには、恋人と一緒にいるような喜びと楽しさと興奮があります。240分の大曲ですから、まさに長編小説をじっくり読んでいるような充実感があります。それに、だれでも、この作品を全部まるごと聴けば、音楽の多彩さと合唱の響きの素晴らしさとバロック音楽の緊張感を実感することが出来るでしょう。また、ヘンデル・ルネッサンスが叫ばれるいま、彼の代表作によって、その力量と天才性を改めて知る良い機会です。全曲を聴けば、全体の調性の動きや物語の展開の面白さだけでなく、ソロと合唱とオーケストラの組み合わせによる音楽の構成の変化を楽しむことができます。演奏する人たちからいえば、アマチュアなので歌いやすい曲だけを選んだとか、余りよく知られていない曲はさけたといった、ヘンデルや聴衆に対する後ろめたさがなくなります。偉



都築正道

(中部大学教授・愛環音楽連盟理事長)

大な作曲家に対する謙虚さと作品に対するひたむきさは、アマチュア合唱団ならではのものです。演奏者も、並大抵な意気込みでは全曲演奏は出来ませんから、たくさん練習を経た名演奏が期待できます。合唱団だけではなく、指揮者の諸岡研史さんもソリストのみなさんも、大いに張り切っています。」

## 《メサイア》はオラトリオ

「ロンドン初演は、《メサイア》の名を伏せて、「新宗教オラトリオ」の名前でおこなわれたそうですが、どうしてですか？」

「それは、《メサイア》が優れて深い信仰を感動的に伝えるものであり、教会の儀式で歌われるカンタータや受難曲と同じ「祈り」に近いものだったからです。そのため、内容が内容ですから、《メサイア》(救世主)という題名で上演すれば、教会から「冒瀆の罪」で告発されるかもしれないという恐れがありました。それで、ヘンデルは、「新宗教オラトリオ」(New Sacred Oratorio)というあいまいな名前で発表したのだといわれています。」

「オラトリオってなんですか？」

「オラトリオは、本来、信徒たちが「祈禱所」(オラトリオ)に集まって、聖書を朗読したり、説教を聞いたり、幻想的な衣装を身にまとった歌手が「ラウダ」(賛歌)を歌って対話劇を演じたりしたことをいいます。それは、礼拝であるよりも、「衣装と装置のないオペラ」であり、宗教性と同時に極めて劇的で娯楽性の強いものでありました。慎重なヘンデルでしたが、このオラトリオを芝居小屋の人気歌手であるクリーヴ夫人とチバー夫人に歌わせましたので、上演前から「ミュージックホールの下品な歌手たちが神のみ言葉を伝えようとしている」「聖書に基づいた作品の上演にこのような夫人たちを起用するとはなにごとだ」といった非難が起きました。」

## ダブリン初演のなぞ

「なぜ、ロンドンではなく、ダブリンで初演されたのですか？」

「《メサイア》は、アイルランドのダブリンで、1742年4月13日にダブリン市音楽堂で初演されました。「なぜ、ダブリンか？」にも、多くの問題が隠されています。まず、ヘンデル自身の問題でした。この時期、彼のオペラやオラトリオが失敗を重ね、ロンドンではもうまともな



興業が打てなくなっていたからです。いっそ故郷のドイツへ帰ろうと思ったこともありましたが、そんな彼が、一時ロンドンを離れて、新しい土地で、新しいジャンルで再起を期そうと決心しても何の不思議もないでしょう。そんなとき、アイルランドの州知事デヴォンシャー公爵（本名ウィリアム・カーヴェンディッシュ）から、ダブリンで新作上演の依頼がきました。それを受けたヘンデルは、〈メサイア〉を、1741年の8月22日に書き始め、わずか24日間で書き上げました。」

「そんなに早く書き終えたのに、なぜ、ダブリンでの初演は半年以上も後だったのですか？」

「最初はロンドンで初演しようと考えていたのでしょう。でも、ロンドンで初演するには、この作品の内容と様式が問題でした。純粋にイエス＝キリストを讃える敬虔な宗教曲ではなくて、聖書の詩句を書き換え、私的な詩も加えた世俗的要素の多い劇的な音楽作品でした。それを劇場の歌手を使って上演しようとするれば、宗教対立が盛んなロンドンでは、これまで以上に教会から多くの弾圧が予想されます。それで、結局ロンドン初演はあきらめざるを得なかったのでしょう。」

## 「ハレルヤ」で起立

「ジョージ2世が「ハレルヤ」で思わず立ち上がったので、まわりの人がみんな立ち上がって聴いたというのは本当ですか？」

「王さまならずとも、「ハレルヤ」には感激しますから、こういったお話がまことしやかに伝えられるのも、もっともな気がいたします。」

「で、事実はどうだったのですか？」

「〈メサイア〉研究者ジェイコビの本によると、ピーティ博士がキノウル卿から聴いた話として、「ヘンデルの〈メサイア〉初演の時、聴衆のほとんどは音楽から大きな衝撃をうけ、感動させられた。さらに、合唱がハレルヤの中で「主である全能の神のために」(for the Lord God omnipotent)を歌い始めた時、彼らは興奮のあまりこの合唱が終るまで偶然出席していた王と共に立ち続けたということだ」と記されています。」

「本当に〈メサイア〉らしい、感激的なシーンですね。」

「そして、ジェイコビは次のように続けています。「この人伝に話されたことによると、聴衆が先でそれから王が立ち上がったというが、別のうわさによると王が先に立ち、礼儀としてみんなが立ったという。」ジェイコビは、また別の記録から、「合唱が始まった時、たまたま王が劇場に到着したので、みんなが立ち上がったという夢のない説もあった」ことも紹介しています。」

「でも、王さまがご到着になったのが第2部の終りの「ハレルヤ・コーラス」では、少々おいでになるのが遅すぎたような気がしますか？」

「王さまはいつも気まぐれなのです。(笑い) 私の説は、「国王もあまり〈メサイア〉が長いので、退屈してコッソリ帰ろうと立ち上がったら、お付きのものも一斉に立ったので、仕方なく感激した振りをして立ちつづけたのだ」

というのですがどうでしょう。」(笑い)

「それこそ、あまりに夢のない説ですね。」

「冗談は別にして、「ハレルヤ」の歌詞に「王の中の王、主の中の主」という言葉があるので、臨席していた現世の王に対して恭順の意を示すために貴族や廷臣たちが立ったのだと言う気がします。常に、〈メサイア〉の宗教性は大きな問題です。教会の儀式では、礼拝の進行に合わせて立ったりひざまづいたりします。偶然であるにしても、それと同じことが、あろうことか王さまも一緒になって、この音楽ホールの中で行われたのですから、事は重大です。「礼拝が劇場のショーに変わってしまった」といった非難が宗教界から起きるのもむむのりないことです。」

「いまでも恒例になっている「ハレルヤ起立」は、やめた方が良いですね。」

「むろん、演奏を賞賛するために立ち上がって拍手する「スタンディング・オベーション」ならいつでも、どこでもかまわないでしょう。」

## 〈メサイア〉はチャリティ

「初演は慈善演奏会だったのですか？」

「記録では、「監獄の囚人救済とシュテファン通りのマーサー病院の援助、インズ＝クィの慈善病院のために」となっています。貧しい病人たちへの寄付は考えられないでもありませんが、「監獄の囚人救済」となると良く分かりません。実は、この囚人たちは、借金が返せないで牢屋に入れられた人たちで、もっとも貧しい、もっとも不幸な状況にいたのです。〈メサイア〉の収益金で、142人の人々が自由になったといわれています。バーニーは、「この宗教的オラトリオ〈メサイア〉は、飢えるものに食物を与え、裸のものには着物を着せ、孤児を養育した」と書いた後で、「そして英国中だけでなく、誰の作品よりも興行主をうるおした」と付け加えるのを忘れませんでした。」(笑い)

「最初から、〈メサイア〉はチャリティと結びついていたのですね。」

「その通りです。ヘンデルも晩年は、自ら捨て子養育院のために〈メサイア〉を毎年上演しています。私たちは、〈メサイア〉を聴くと、こころから幸せな気持ちになり、「自分だけが幸せでいて良いのだろうか」とまわりの人たちに思いを馳せます。その慈愛の心を意味する「チャリティ」(charity)は、ラテン語の「カリタス」からきた言葉です。「カリスマ」(charisma: 神から与えられた強烈な個性や指導力)と同じ語源を持ちます。「カリタス」は、私たちに向けられた神の愛とそれに応えて人々につくす私たちの心を意味します。〈メサイア〉ほど、私たちにカリタスな思いを感じさせる音楽はないでしょう。本日の演奏を聴いて、私たちは、飢えた不幸な人たちの思い、隣人に対する思いやりを感じるならば、〈メサイア〉を聴く喜びは、実はここにあるといえましょう。」



PART 1

No.1 Sinfonia

No.2 ARIOSO (Tenor)

Comfort ye, comfort ye my people, saith your God.  
Speak ye comfortably to Jerusalem, and cry unto her, that  
her warfare is accomplishe'd, that her iniquity is pardon'd.  
The voice of him that crieth in the wilderness; Prepare ye  
the way of the Lord, make straight in the desert a highway  
for our God.

No.3 ARIA (Tenor)

Every valley shall be exalted, and every mountain and hill  
made low; the crooked straight, and the rough places plain.

No.4 CHORUS

And the glory of the Lord shall be revealed. And all flesh  
shall see it together, for the mouth of the Lord hath spoken  
it.

No.5 RECIT. (Bass)

Thus saith the Lord of Hosts: Yet once, a little while, and I  
will shake the heavens and the earth, the sea and the dry  
land; and I will shake all nations, and the desire of all  
nations shall come. The Lord, whom ye seek, shall  
suddenly come to His temple, even the messenger of the  
Covenant, whom ye delight in; behold He shall come, saith  
the Lord of Hosts.

No.6 ARIA (Bass)

But who may abide the day of His coming, and who shall  
stand when He appeareth? For He is like a refiner's fire.

No.7 CHORUS

And He shall purify the sons of Levi, that they may offer  
unto the Lord an offering in righteousness.

No.8 RECIT. (Alto)

Behold, a virgin shall conceive, and bear a son, and shall  
call his name Emmanuel, "God with us".

No.9 ARIA (Alto) & CHORUS

O thou that tellest good tidings to Zion, get thee up into  
the high mountain, O thou that tellest good tidings to  
Jerusalem, lift up thy voice with strength, lift it up, be not  
afraid, say unto the cities of Judah: Behold your God!  
Arise, shine for thy light is come, and the glory of the Lord  
is risen upon thee.

第1部 預言・降誕

No.1 シンフォニア (序曲)

No.2 アリオソ (テノール)

「慰めよ、わたしの民を慰めよ」と、あなたたちの  
神は言われる。「懇ろにエルサレムに語りかけよ、  
呼びかけよ、その苦難の時代は終り、その咎は償わ  
れた」と荒野に呼びかける者の声とする。「主のた  
めに荒野に道をそなえ、私たちの神のために荒地に  
に広い道を通せ」 【イザヤ40:1~3】

No.3 アリア (テノール)

「谷は全て高くせられ、山と丘は低くせられ、険し  
い道は平らに、狭い道は広い谷となれ」  
【イザヤ40:4】

No.4 コーラス

こうして主の栄光が現れ、人は皆ともにこれを見る。  
主の口がこう宣言されたのである。 【イザヤ40:5】

No.5 レシタティーヴォ (バス)

万軍の主はこう言われる。私は間もなく、もう一度  
天と地を、海と陸を揺り動かす。諸国の民をことご  
とく揺り動かし、諸国の民のすべての財宝をもたら  
ず。あなたがたが求める主は、突然、その神殿に來  
られる。見よ、あなたがたが喜ぶ契約の使者が來る  
と、万軍の主が言われる。  
【ハガイ2:6~7】 【マラキ3:1】

No.6 アリア (バス)

だが、彼が來る日に誰が耐え得よう。彼が現れると  
き、誰が立ち耐えよう。彼は金を吹き分ける者の火  
のようだ。 【マラキ3:2】

No.7 コーラス

そして、彼はレビの子を清める。彼らが天に捧げる  
ものを、正しく捧げる者となるためである。  
【マラキ3:3】

No.8 レチタティーヴォ (アルト)

見よ、乙女が身籠って男の子を産む。その名はイン  
エマヌエルと呼ばれる。「神はわれらと共にある」  
(の意である) 【イザヤ7:14】 【マタイ1:23】

No.9 アリア (アルト) & コーラス

良い知らせをシオンに伝える者よ、高い山にのぼれ、  
良い知らせをエルサレムに伝える者よ、強く声をあ  
げよ、恐れるな、ユダの町に告げよ、見よ、あなた  
たちの神を。起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、  
主の栄光があなたの上に輝く。 【イザヤ40:9 60:1】



## No.10 ARIOSO (Bass)

For behold, darkness shall cover the earth, and gross darkness the people: but the Lord shall arise upon thee, and His glory shall be seen upon thee. And the Gentiles shall come to thy light, and Kings to the brightness of thy rising.

## No.11 ARIA (Bass)

The people that walked in darkness have seen a great light. And they that dwell in the land of the shadow of death, upon them hath the light shined.

## No.12 CHORUS

For unto us a Child is born, unto us a Son is given: and the government shall be upon His shoulder, and His name shall be called Wonderful, Counsellor, The Mighty God, The Everlasting Father, The Prince of Peace!

## No.13 Pastoral Symphony

## No.14 RECIT. ARIOSO (Soprano)

There were shepherds abiding in the field, keeping watch over their flocks by night. And lo, the angel of the Lord came upon them, and the glory of the Lord shone round about them: and they were sore afraid.

## No.15 RECIT. (Soprano)

And the angel said unto them: Fear not; for behold, I bring you good tidings of great joy, which shall be to all people. For unto you is born this day, in the city of David, a Saviour, which is Christ the Lord.

## No.16 RECIT. (Soprano)

And suddenly there was with the angel a multitude of the heavenly host, praising God, and saying:

## No.17 CHORUS

Glory to God in the highest, and peace on earth, good will towards men!

## No.18 ARIA (Soprano)

Rejoice greatly, O daughter of Zion: shout, O daughter of Jerusalem. Behold, thy King cometh unto thee. He is the righteous Saviour, and He shall speak peace unto the heathen.

## No.19 RECIT. (Alto)

Then shall the eyes of the blind be opened, and the ears of the deaf unstopped. Then shall the lame man leap as a hart, and the tongue of the dumb shall sing.

## No.10 アリオージョ (バス)

見よ、暗闇が地と国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出て、主の栄光があなたの上に見られる。国々はあなたの照らす光に向かい、王たちはその輝きに向かって進む。【イザヤ60:2~3】

## No.11 アリア (バス)

暗闇の中を歩んでいた民は大いなる光を見た。死の陰に住む者の上に光が輝いた。【イザヤ9:2】

## No.12 コーラス

ひとりのみどりごが誕生した。私たちにひとりの男の子が与えられた。権威はその肩にあり。その名は「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君」と唱えられる。【イザヤ9:6】

## No.13 田園交響曲

## No.14 レシタティーヴォ アリオージョ (ソプラノ)

その地方で羊飼いたちが野宿をして、夜通し羊の群れの番をしていた。すると主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは大いに懼れた。【ルカ2:8~9】

## No.15 レシタティーヴォ (ソプラノ)

天使は言った「懼れるな、私は民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町であなたのために、救い主がお生まれになった。この方こそ、主キリストである」【ルカ2:10~11】

## No.16 レシタティーヴォ (ソプラノ)

するとたちまち、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。【ルカ2:13】

## No.17 コーラス

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、人には恵みあれ」【ルカ2:14】

## No.18 アリア (ソプラノ)

シオンの娘よ大いに喜べ、エルサレムの娘よ呼ばわれ、見よ、あなたの所にあなたの王が来る。彼は神にしたがい、諸国の民に平和が告げられる。【ゼカリヤ9:9~10】

## No.19 レシタティーヴォ (アルト)

その時、見えない人の目が明き、聞こえない人の耳が開く。その時、歩けなかった人が鹿のように躍り上る。口の利けなかった人が喜び歌う。【イザヤ35:5~6】

## No20 ARIA (Soprano&amp;Alto)

He shall feed His flock like a shepherd, and He shall gather the lambs with His arm, and carry them in His bosom, and gently lead those that are with young. Come unto Him, all ye that labour, come unto Him that are heavy laden, and He will give you rest. Take His yoke upon you, and learn of Him, for He is meek and lowly of heart, and ye shall find rest unto your souls.

## No21 CHORUS

His yoke easy and His burthen is light.

## PART 2

## No22 CHORUS

Behold the Lamb God, that taketh away the sin of the world.

## No23 ARIA (Alto)

He was despised and rejected of men; a man of sorrows, and acquainted with grief. He gave His back to the smiters, and His cheeks to them that plucked off the hair; He hid not His face from shame and spitting.

## No24 CHORUS

Surely He hath borne our griefs, and carried our sorrows. He was wounded for our transgressions, He was bruised for our iniquities, the chastisement of our peace was upon Him.

## No25 CHORUS

And with His stripes we are healed.

## No26 CHORUS

All we like sheep have gone astray, we have turned every one to his own way; and the Lord hath laid on Him the iniquity of us all.

## No27 ARIOSO (Tenor&amp;Soprano)

All they that see Him laugh Him to scorn; they shoot out their lips, and shake their heads, saying:

## No28 CHORUS

He trusted in God that he would deliver Him, let Him deliver Him, if He delight in Him.

## No20 アリア (ソプラノ&amp;アルト)

主は羊飼いのようにその群れを養い、その腕に子羊を抱き、懐に入れ、その母を導いていかれる。疲れた者、重荷を負う者はだれでも、主の許に来なさい。主はあなたがたを休ませて下さるだろう。主は柔和で謙虚な方だから。主の轡を負い、主に学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られるだろう。 【イザヤ40:11】 【マタイ11:28~29】

## No21 コーラス

主の轡は負い易く、主の荷は軽いからである。

【マタイ11:30】

## 第2部 受難

## No22 コーラス

見よ、世の罪を取り除く神の子羊を。 【ヨハネ1:29】

## No23 アリア (アルト)

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、多くの痛みを負い、病を知っていた。

彼を打とうとする者には背中をまかせ、髭を抜こうとする者には頬をまかせた。顔を隠さず、嘲りと唾を受けた。 【イザヤ53:3 50:6】

## No24 コーラス

彼が担ったのは私たちの病、彼が負ったのは私たちの痛み、彼が打ち砕かれたのは、私たちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって、私たちに平和が与えられた。 【イザヤ53:4~5】

## No25 コーラス

彼の受けた傷によって、私たちは癒されたのだ

【イザヤ53:5】

## No26 コーラス

私たちは羊の群れのように道に迷い、それぞれの方角に向かって行った。主は私たちすべての罪を、彼に負わせられた。 【イザヤ53:6】

## No27 アリオソ (テノール&amp;ソプラノ)

彼をみるものは全て彼を嘲り笑い、唇を突き出し、頭を振って言う。 【詩編22:7】

## No28 コーラス

「主に頼んで救ってもらおうがよい。主が彼を愛しておられるなら、彼を助けて下さるだろう。」

【詩編22:8】



## No29 RECIT. (Tenor)

Thy rebuke hath broken His heart; He is full of heaviness.  
He looked for some to have pity on Him, but there was no  
man; neither found Heany to comfort Him.

## No30 ARIOSO (Tenor)

Behold, and see if there be any sorrow like unto His  
sorrow.

## No31 RECIT. (Tenor)

He was cut off out of the land of the living; for the  
transgression of Thy people was He stricken.

## No32 ARIA (Tenor)

But Thou didst not leave His soul in hell; nor didst Thou  
suffer Thy Hory One to see corruption.

## No33 CHORAS

Lift up your heads, O ye gates; and be ye lift up, ye  
everlasting doors, and the King of glory shall come in.  
Who is this King of glory The Lord strong and mighty, the  
Lord mighty the Lord mighty in battle. Lift up your heads,  
O ye gates; and be ye lift up, ye everlasting doors, and the  
King of Glory shall come in Who this King of Glory? The  
Lord of Hosts, He is the King of glory.

## No34 RECIT. (Tenor)

Unto which of the angels said He at any time, Thou art my  
Son, this day have I begotten Thee?

## No35 CHORUS

Let all the angels of God worship Him.

## No36 ARIA (Alto)

Thou art gone up on high, Thou hast led captivity  
captive, and received gifts for men, yea, even for Thine  
enemies, that the Lord God might dwell among them.

## No37 CHORUS

The Lord gave the word, great was the company of the  
preachers.

## No38 ARIA (Soprano)

How beautiful are the feet of them that preach the gospel  
of peace, and bring glad tidings of good things.

## No39 CHORUS

Their sound is gone out into all lands, and their words unto  
the ends of the world.

## No29 レシタティーヴォ (テノール)

嘲りに心を打ち砕かれ、彼は無力になりました。望  
んでいた同情も得られず、慰めてくれる人も見つかり  
ません。 【詩編69:21】

## No30 アリオソ (テノール)

目を留めよ、よく見よ、彼を責めるこれほどの痛み  
が世にあったろうか 【哀歌1:12】

## No31 レシタティーヴォ (テノール)

あなたの民の裏切りのために、彼が神の手にかかり、  
命ある者の地から断たれたことを。 【イザヤ53:8】

## No32 アリア (テノール)

しかし、あなたは彼の魂を陰府に捨てることなく、  
あなたの慈しみに生きる者に、墓穴を見させなかつ  
た。 【詩編16:10】

## No33 コーラス

門よ、こうべをあげよ、とこしえの戸よ、あがれ。  
栄光に輝く王が来られる。栄光に輝く王とは誰か？  
強く雄々しい主。雄々しく戦われる主。門よ、こう  
べをあげよ、とこしえの戸よ、あがれ。栄光に輝く  
王とは誰か？万軍の主、主こそ栄光に輝く王。  
【詩編24:7~10】

## No34 レシタティーヴォ (テノール)

いったい神は天使の誰に「あなたは私の子、私は今  
日、あなたを生んだ」といわれたのか。

【ヘブライ人への手紙1:5】

## No35 コーラス

神の天使たちは皆、彼を礼拝すべきである。

【ヘブライ人への手紙1:6】

## No36 アリア (アルト)

あなたは高い山に上り、人々を虜にし、貢ぎ物を受  
け取り、背く者からさえも貢ぎ物を受けた。主なる  
神がそこに住み給うためである。 【詩編68:18】

## No37 コーラス

主はみ言葉を告げ、それを宣べ伝える者の群れは夥  
しかった。 【詩編68:11】

## No38 アリア (ソプラノ)

「平安の訪れをのべ、良き知らせを伝える者の足は、  
なんと美しいことか。」 【ローマ人への手紙 10:15】

## No39 コーラス

「その声は全地に響き渡り、そのみことばは世界の  
果てにまで及ぶ。」 【ローマ人への手紙 10:18】

## No40 ARIA (Bass)

Why do the nations so furiously rage together, and why do the people imagine a vain thing? The kings of the earth rise up, and the rulers take counsel together against the Lord, and against His anointed.

## No41 CHORUS

Let us break their bond asunder, and cast away their yokes from us.

## No42 RECIT. (Tenor)

He that dwelleth in heaven shall laugh them to scorn, the Lord shall have them in derision.

## No43 ARIA (Tenor)

Thou shalt break them with a rod of iron; Thou shalt dash them in pieces like a potter's vessel.

## No44 CHORUS

Hallelujah! For the Lord God Omnipotent reigneth. The Kingdom of this world is become the Kingdom of our Lord, and of His Christ, and He shall reign for ever and ever. King of Kings, and Lord of Lords. Hallelujah!

## PART 3

## No45 ARIA (Soprano)

I know that my Redeemer liveth, and that He shall stand at the latter day upon the earth, And though worms destroy this body, yet in my flesh shall I see God. For now is Christ risen from the dead, the first fruits of them that sleep.

## No46 CHORUS

Since by man came death, by man came also the resurrection of the dead.  
For as in Adam all die, even so in Christ shall all be made alive.

## No47 RECIT. (Bass)

Behold, I tell you a mystery; we shall not all sleep, but we shall be changed in a moment, in the twinkling of eye, at the last trumpet.

## No40 アリア (バス)

なにゆえ、国々は騒ぎ立ち、人々はむなしいことを企むのか。なにゆえ、地上の王は立ちあがり、支配者は結束して主に逆らい、主とその油を注がれた方に逆らうのか。【詩編2:1~2】

## No41 コーラス

「われらは彼らの枷をはずし、彼らの軛を解き捨てよう。」【詩編2:3】

## No42 レシタティーヴォ (テノール)

天に座る方は彼らを笑い、主は彼らを嘲られるだろう。【詩編2:4】

## No43 アリア (テノール)

お前は鉄の杖で彼らを打ち砕き、陶工が器を砕くように彼らを打ち砕くであろう。【詩編2:9】

## No44 コーラス

ハレルヤ！全能であり、私たちの神である主が王とられた。この世はわれらの主と、主のキリストのものとなった。主は世々限りなく統治される。王の王。主の主。ハレルヤ！

【ヨハネ黙示録19:6 11:15 19:16】

## 第3部 復活・永生

## No45 アリア (ソプラノ)

私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後日彼は必ず地に立たれる。たとえ私の肉体が滅ぼされようとも、私はなお生きて神を見るだろう。今、キリストは眠っている者の初穂として、死者から蘇ったからである。

【ヨブ19:25~26】【コリント人への手紙15:20】

## No46 コーラス

死が一人の人によってきたのだから、死者の復活もまた一人の人によって来なければならない。アダムにあって全ての人が死んでいるのと同じように、キリストにあって全ての人が生かされるのである。

【コリント人への手紙15:21~22】

## No47 レシタティーヴォ (バス)

ここであなたがたに神秘を告げよう。私たちは全て眠りにつくのではない。終りのラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬にして変えられるのである。

【コリント人への手紙15:51~52】



**No48 ARIA (Bass)**

The trumpet shall sound, and the dead shall be raised incorruptible, and we shall be changed. For this corruptible must put on incorruption, and this mortal must put on immortality.

**No49 RECIT. (Alto)**

Then shall be brought to pass the saying that is written, Death is swallowed up in victory.

**No50 DUET (Alto&Tenor)**

O death, where is thy sting?  
O grave, where is thy victory?  
The sting of death is sin, and the strength of sin is the law.

**No51 CHORUS**

But thanks be to God, who given us the victory through our Lord Jesus Christ.

**No52 ARIA (Soprano)**

If God be for us, who can be against us? Who shall lay anything to the charge of God's elect? It is God that justifieth. Who is he that condemneth? It is Christ that died, yea rather, that is risen again, who is at the right hand of God, who makes intercession for us.

**No53 CHORUS**

Worthy is the Lamb that was slain, and hath redeemed us to God by His blood, to receive power, and riches, and wisdom, and strength, and honour, and glory, and blessing. Blessing and honour, glory and power, be unto Him that sitteth upon the throne, and unto the Lamb, for ever and ever, Amen.

**No48 アリア (バス)**

ラッパが鳴ると、死者は朽ちない者によみがえり、私たちは変えられるのである。なぜなら、この朽ちる者は必ず死なないものを着ることになるからである。 【コリント人への手紙15:52~53】

**No49 レシタティーヴォ (アルト)**

その時、聖書に書いてある次のような言葉が成就するのである。「死は勝利にのまれてしまった」 【コリント人への手紙15:54】

**No50 二重奏 (アルト&テノール)**

「死よ、お前の棘はどこにあるのか。死よ、お前の勝利はどこにあるのか」死の棘は罪であり、罪の力は律法である。 【コリント人への手紙15:55~56】

**No51 コーラス**

しかし、感謝すべきことには、神は私達の主イエス・キリストによって、私達に勝利を賜ったのである。 【コリント人への手紙15:57】

**No52 アリア (ソプラノ)**

神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できようか？神に選ばれた者たちを訴えるのは誰か？神は彼らを義とされるのである。誰が私達を罪に定めようとするのか。キリストは死んで、否、蘇って、神の右に座し、私達のためにとりなして下さるのである。 【ローマ人への手紙8:31.33~34】

**No53 コーラス**

「屠られて、その血により我々の罪を、贖いたまいし子羊こそは、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方である」 「御座（みざ）にいます方と子羊とに、賛美と、誉れと、栄光と、権力とが、限りなくあるように。」 アーメン。 【ヨハネ黙示録5:12~14】